Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Effects of Two Types of Prosthetic Valves For Transcatheter Aortic Valve Implantation On Intraoperative Left Ventricular End-diastolic Pressure

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 豊田, 浩作 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00033257

主 論 文 の 要 旨

Effects of Two Types of Prosthetic Valves For Transcatheter Aortic Valve Implantation On Intraoperative Left Ventricular End-diastolic Pressure

（人工弁の種類の違いが経カテーテル大動脈弁置換術術中の左室拡張末期圧に与える影響）

東京女子医科大学集中治療科
（指導：野村　岳志教授）
豊田　浩作

Tokyo Women's Medical University Journal, Volume 5 に掲載
（2021 年 10 月 21 日にオンラインで先行掲載）

【要　旨】

大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術（以下 TAVI）は左室の駆出抵抗を軽減し心機能を改善させることが期待されているが、TAVI 術中の左室充満圧への影響に関する研究は少ない。本研究では TAVI で用いられる人工弁の種類の違いが TAVI 術中の左室拡張末期圧（以下 LVEDP）に与える影響を後方視的に調査した。TAVI を施行された181例を対象とし、バルーン拡張型人工弁を使用した120例(B 群)と、自己拡張型人工弁を使用した61名（S 群）に分類した。左心カテーテルを用いて弁留置前後の左室拡張期圧を測定した結果、LVEDP の低下は B 群に比べて S 群において有意に大きかった(S 群 −1.3 ± 6.0 mmHg vs. B 群 0.8 ± 5.1 mmHg, $p < 0.05$)。大動脈弁逆流の LVEDP への影響を除外するため、術前後に中等度以上の大動脈弁逆流があった症例（B 群 20 例、S 群 25 例）を除外したサブグループ解析においても、LVEDP の低下は B 群に比べて S 群において有意に大きかった(S 群 −1.8 ± 5.6 mmHg vs. B 群 0.5 ± 4.8 mmHg, $p < 0.05$)。自己拡張型人工弁の使用は、バルーン拡張型人工弁の使用に比して TAVI 術中の LVEDP 上昇を防止する可能性が示唆された。